

令和7年度
事業報告書

公益財団法人米沢上杉文化振興財団

目 次

(令和7年度事業報告書)

I 米沢市上杉博物館	・・・ 1ページ
1 上杉氏をはじめとする地域の歴史・文化の継承と地域の魅力の発信	
2 豊かな感性を育み郷土を愛する人材の育成	
II 置賜文化ホール	・・・ 10ページ
1 文化芸術活動の活性化と伝統芸能の継承	
III 米沢市座の文化伝承館	・・・ 11ページ
1 伝統文化活動の支援	
IV 市立米沢図書館	・・・ 12ページ
1 地域の情報拠点となる図書館づくり	
2 読書活動・生涯学習を支える図書館づくり	
3 こどもの未来を育む図書館づくり	
4 郷土資料を適切に保管し、次世代に伝える図書館づくり	
V よねざわ市民ギャラリー	・・・ 20ページ
1 芸術・文化活動の活性化	
VI 連携と協働による事業の推進と適正な組織運営	・・・ 22ページ
1 市民や地域の力を繋ぎ活かした事業の推進	
2 公益財団法人としての適正な組織運営と安全安心で開かれた施設利用	

令和7年度事業報告

米沢市上杉博物館

1 上杉氏をはじめとする地域の歴史・文化の継承と地域の魅力の発信

(事業の方針)

- ・上杉家や米沢藩ゆかりの資料及び郷土作家作品等の収集と調査研究を体系的に進め、広く開かれた研究拠点施設を目指す
- ・地域の人々が郷土に誇りと愛着を持ち、地域の内外からの来館者の感動を呼ぶ魅力的な展示を行う
- ・文化財等の適正な保存・管理に努める

1-1 地域の資源等を活用した魅力的な展示による交流の促進

(1) 多様な地域資源の活用 (企画展示)

① 特別展「上杉家の御殿 ～城・藩邸・伯爵邸～」

会期：前期4月19日(土)～5月18日(日)/後期5月24日(土)～6月22日(日) [58日間]

入場者数：12,993人

【関連事業】

区分	演題・期日・内容等	参加人数
講演会	演題：「上杉伯爵邸の魅力と見どころ～近世から近代へ～」 講師：永井康雄氏 (山形大学工学部教授) 期日：6月8日(日)	80人
ギャラリートーク	期日：4月19日(土) 5月10日(土)、5月24日(土)	145人
上杉伯爵邸との連携企画	期間：4月26日(金)～6月22日(日) 内容：歴史・建築・食文化解説付きツアー パネル展示 相互割引	ツアー 49人 パネル展示 約1,500人 相互割引244人

【評価】(各項目4点満点)

協議会委員評価項目	評点	内部評価項目	評点
テーマの設定	3.8	内容(興味関心)	3.1
展示資料の点数・選定	4.0	ねらいが伝わる構成	3.3
解説のわかりやすさ	3.8	解説のわかりやすさ	3.3
会場設営(雰囲気づくり)	3.8	効果的な広報	2.9
総合評価	3.9	ショップ運営	3.0

② 企画展「藍のものがたり 紅花のものがたり」

会期：前期7月5日(土)～8月3日(日)/後期8月6日(水)～8月31日(日) [56日間]

入場者数：4,876人

【関連事業】

区分	期日・内容等	参加人数
ギャラリートーク	期日：7月5日(土)	35人
ゲスト ギャラリートーク	期日：7月13日(日) 講師：山村幸夫氏 (原始布・古代織参考館館長)	25人

アウトリーチ	赤崩草木染研究所見学 期日：7月26日（土）	15人
募集制 ワークショップ	ナイトツアーようこそ夜の博物館へ「藍と紅花のひみつ」 期日：7月11日（金）	21人
	「紅花の不思議 ハンカチを染めよう」 期日：8月2日（土）	15人
	「藍の生葉でストールを染めよう」 期日：8月23日（土）	14人

【評価】（各項目4点満点）

協議会委員評価項目	評点	内部評価項目	評点
テーマの設定	3.9	内容(興味関心)	2.8
展示資料の点数・選定	3.8	ねらいが伝わる構成	2.8
解説のわかりやすさ	3.9	解説のわかりやすさ	2.6
会場設営(雰囲気づくり)	3.9	効果的な広報	2.6
総合評価	4.0	ショップ運営	3.0

③ 特別展「上杉謙信の祈りと信仰」

会期：前期9月13日（土）～10月13日（月）/後期10月18日（土）～11月16日（日）[59日間]

入場者数：12,902人

【関連事業】

区分	演題・期日等	参加人数
講演会	演題：「謙信の軍神、軍神の謙信」 講師：黒田智氏（早稲田大学社会総合学術院教授） 期日：10月25日（土）	85人
ギャラリートーク	期日：9月13日（土）、10月4日（土） 10月18日（土）、11月8日（土）	215人

【評価】（各項目4点満点）

協議会委員評価項目	評点	内部評価項目	評点
テーマの設定	4.0	内容(興味関心)	3.7
展示資料の点数・選定	3.8	ねらいが伝わる構成	3.1
解説のわかりやすさ	4.0	解説のわかりやすさ	3.0
会場設営(雰囲気づくり)	4.0	効果的な広報	3.1
総合評価	3.8	ショップ運営	4.0

④ 企画展「ブルーノ・ムナーリ ～美術に出会う前の美術～」

会期：11月29日（土）～1月25日（日）[46日間]

入場者数：1,981人

【関連事業】

区分	期日・内容等	参加人数
ギャラリートーク	期日：11月29日（土）	25人
募集制 ワークショップ	「サラダ菜のバラでエコバック」 期日：12月13日（日）	6人
	「折りたためる彫刻をつくろう」 期日：1月10日（土）	10人
	ナイトツアーようこそ夜の博物館へ「ムナーリと遊ぼう」 期日：12月19日（金）	12人

【評価】（各項目4点満点）

協議会委員評価項目	評点	内部評価項目	評点
テーマの設定	3.7	内容(興味関心)	3.0
展示資料の点数・選定	3.7	ねらいが伝わる構成	3.1
解説のわかりやすさ	3.6	解説のわかりやすさ	2.5
会場設営(雰囲気づくり)	3.6	効果的な広報	2.8
総合評価	3.9	ショップ運営	3.1

⑤ コレクション展「国宝「上杉家文書の世界Ⅷ」

会期：2月14日（土）～3月15日（日）〔26日間〕 入場者数：3,533人

【関連事業】

区分	期日	参加人数
ギャラリートーク	2月14日（土）、3月14日（土）	80人

【評価】（各項目4点満点）

協議会委員評価項目	評点	内部評価項目	評点
テーマの設定	3.3	内容(興味関心)	3.2
展示資料の点数・選定	3.3	ねらいが伝わる構成	3.3
解説のわかりやすさ	3.7	解説のわかりやすさ	2.3
会場設営(雰囲気づくり)	3.5	効果的な広報	2.9
総合評価	3.0	ショップ運営	3.0

(令和7年度企画展入場者数一覧)

展覧会	会期	日数	入場者数	前後期合計	1日平均入場者数	想定人数	想定人数対比
上杉家の御殿(前期)	4/19～5/18	29	8,479	12,993	292.4	14,800	87.8%
上杉家の御殿(後期)	5/24～6/22	30	4,514		150.5		
藍のものがたり 紅花のものがたり(前期)	7/5～8/3	29	2,325	4,876	80.2	10,500	46.4%
藍のものがたり 紅花のものがたり(後期)	8/6～8/31	25	2,551		102.0		
上杉謙信の祈りと信仰(前期)	9/13～10/13	30	6,129	12,902	204.3	15,600	82.7%
上杉謙信の祈りと信仰(後期)	10/18～11/16	29	6,773		233.6		
ブルーノ・ムナーリ	11/29～1/25	45	1,981		44.0	1,100	180.1%
上杉家文書の世界Ⅷ	2/14～3/15	26	3,533		135.9	2,400	147.2%
合計		243	36,285		149.3	44,400	81.7%

(2) 上杉氏にまつわる地域資源の活用（常設展示）

- ① 「謙信・景勝に手紙を書く～宛名にみる上杉氏の歴史～」を年間テーマに、上杉文華館で国宝「上杉家文書」を読み解く展示を12本の小テーマで開催した（小テーマごとに展示替）。

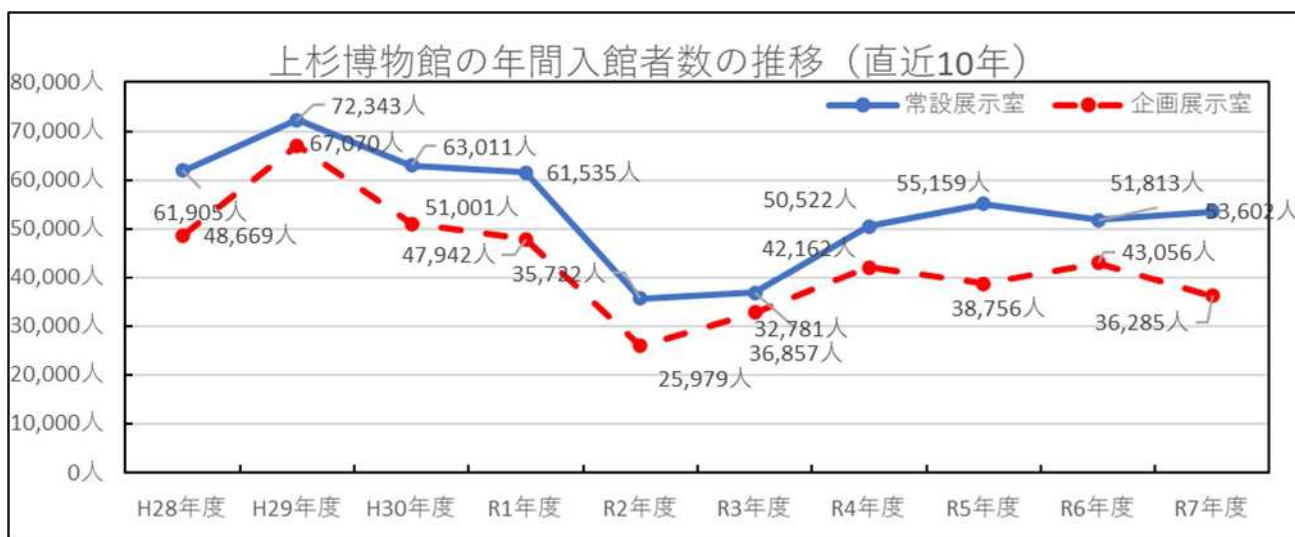
小テーマ	期間	コレクショントーク
上杉殿と上杉弾正少弼殿	3月25日（火）～4月22日（火）	4月6日 参加者数 4人
名字と地名…上杉と山内	4月24日（木）～5月27日（火）	5月11日 参加者数 18人
山内殿の使用(1)…関東	5月29日（木）～6月24日（火）	6月1日 参加者数 25人
山内殿の使用(2)…奥羽	6月26日（木）～7月22日（火）	7月6日 参加者数 17人
地名を書くこと	7月24日（木）～8月26日（火）	8月3日 参加者数 35人
宛名の使い分け(1)…北条氏	8月28日（木）～9月23日（火）	9月7日 参加者数 20人
宛名の使い分け(2)…佐竹氏	9月25日（木）～10月21日（火）	10月5日 参加者数 30人
宛名の使い分け(3)…武田氏	10月23日（木）～11月25日（火）	11月9日 参加者数 30人

宛名の使い分け(4)…葦名氏	11月27日(木)～12月21日(日)	12月7日 参加者数 10人
宛名の使い分け(5)…上下の関係	12月23日(火)～1月25日(日)	1月11日 参加者数 15人
飛騨の領主たち…山内殿の使用	1月27日(火)～2月23日(月・祝)	2月21日 参加者数 25人
「山内殿」の終焉	2月25日(水)～3月29日(日)	3月1日 参加者数 15人

② 国宝「上杉本洛中洛外図屏風」(原本)の展示

期間	展示場所	備考
4月19日(土)～5月18日(日)	企画展示室	特別展「上杉家の御殿～城・藩邸・伯爵邸～」(前期)

※国宝「上杉本洛中洛外図屏風」の修理(米沢市事業 ガバメントクラウドファンディング活用)
期間:令和7年6月2日～12月17日



(3) 次年度以降の展示計画等に関する調査研究の推進

令和8年度以降の企画展開催に向けた調査研究を進めた。

① 歴史関係

- ・上杉謙信関連の調査、研究
- ・上杉鷹山関連の調査、研究
- ・直江兼続関連の調査、研究
- ・上杉家旧蔵資料の調査
- ・武家文書の古文書学的調査、研究
- ・上杉家の御殿関連の調査、研究
- ・上杉景勝関連の調査、研究
- ・上杉文書の伝来、成立に関する研究
- ・上杉家家臣団関連の調査、研究
- ・米沢藩に関する調査、研究
- ・米沢藩と近代米沢の学問に関する調査、研究

② 美術関係

- ・洛中洛外図に関する調査
- ・郷土刀に関する調査
- ・福王寺法林に関する院展情報収集
- ・吉池青園展に向けた調査
- ・伊東忠太展に向けた調査

1-2 上杉氏をはじめとする地域の歴史・文化等の調査研究と資料の収集・保管・管理

(1) 資料収集、調査研究の実施と成果の公表

米沢市上杉博物館資料収集基本方針及び内規に基づき、収蔵資料の充実を図った。また、収集した資料の調査研究を計画的に進めた。

- ・資料収集検討会議 2回 ①7月15日(火)、②12月23日(火)

・資料収集委員会 1回 3月19日(木)

・新規受入資料

区分	件数・点数	品目
購入	4件 7点	上杉景勝書状、椿貞雄「山芋図」、黒漆竹に雀紋天目台他
寄贈	21件 139点	椿貞雄「アンドレ像」、上杉伯爵邸再建時図面他
寄託	0件 0点	

① 歴史関連資料の収集・調査

寄託資料の概要調査、収集資料の目録作成と、米沢藩及び上杉家ゆかりの資料をはじめとした郷土ゆかりの資料の追跡・発掘調査を行った。

調査研究の推進にあたっては、市民、地域の博物館、教育機関、大学、研究機関等との連携、交流を図りながら、情報の集積や人的ネットワークを構築することに努めた。

- ・展示予定資料の解説（上杉文華館、令和8年度特別展「学都米沢」関係他）
- ・寄託資料概要調査及び受入済資料の整理、調査の充実
- ・資料収集に関わる個人所蔵資料等の新資料の調査
- ・上杉文書の調査・目録作成、報告書の編集（最終年度、4冊組の報告書を刊行、3月15日に米沢市教育委員会の主催により調査成果を公表する公開シンポジウムを実施した）
- ・米織会館の解体準備に関する資料所在の調査（美術資料を含む）

② 美術関連資料の収集・調査

近親者の高齢化などにより急を要する郷土出身作家の基礎調査を継続した。現在活躍中の郷土出身作家についても情報を収集した。

- ・郷土作家（物故）に関する調査
- ・上杉本洛中洛外図屏風に関する情報の収集と整理
- ・藍と紅花展に向けた調査（今年度展示）
- ・上杉家伝来能楽資料に関する調査
- ・現存作家に関する情報収集
- ・作品収集のための調査

(2) 市民等の学びなどの支援機能の発揮

① レファレンス対応

収蔵資料、展覧会関連資料、置賜地域の歴史・芸術などにかかわる質問への回答を通して、市民の学習と活動の機会を提供した。

- ・レファレンス件数（調査を必要とするもの） 41件

② 情報ライブラリーの展開

収蔵図書や映像、デジタルコンテンツを配置・拡充して利用者に供するとともに、展示や館の活動に関する質問対応、地域学習の素材や方法論の提供等の参考業務を行った。

(3) 資料整理・管理の推進

① 資料の整理・保管

計画的な資料の整理を行い、完了した情報は収蔵文化財総合データベースで公開の準備を進めた。未受入資料の受入作業（資料の受入有無確認、クリーニング、整理、登録、ラベリング収納）、新規受入資料のデジタル化（資料情報、写真）、収蔵資料の写真撮影等を進め、管理体制を整えた。

博物館資料	新規受入資料	25件（146点）
	デジタル化	48件（48点）
	写真撮影	184件（184点）

図書資料	721冊
------	------

- ・上杉文書の再整理（完了）
- ・目賀多家資料の整理（新規）
- ・浜田浜雄関連資料の整理（継続）
- ・資料収集に関する調査・資料作成
- ・桜井祐一関連資料の整理（継続）

② 収蔵文化財総合データベースの充実

上杉文書調査事業の完了に伴い、上杉文書（9, 148点）を新規に公開し、現在24,802点を公開（絵図241点は画像も添付）。また、新たに「上杉文書データベース」の公開を開始し、同資料群について、より詳細な情報や検索がとれた。

③ 資料の修理・手入れ

収蔵資料の点検・修理等を適切に実施した。

館蔵及び寄託刀剣については、専門家に依頼し状態を含めた調査を行った。あわせて、職員による定期的な手入れを実施予定。

資料	修繕内容
高瀬捷三墨彩画作品 18枚	既存裏打ち紙除去、新裏打作業
狩野文信筆 細井平洲像 一幅	新規表具、桐箱新調
館蔵刀剣	研磨

国宝上杉本洛中洛外図屏風の修理（米沢市のガバメントクラウドファンディング活用事業）

期間：令和7年6月2日～12月17日

修理工房：株式会社半田九清堂（東京都渋谷区）

主な内容：経年による膠の接着力低下により生じた絵の具層や金箔の剥離、赤色顔料部分の細かい鱗状の剥離、屏風開閉等による尾背周辺の金雲部分の亀裂、本紙の浮き等に膠水溶液による剥落止めを行い、紙層の浮きや継ぎ部分の糊離れには、小麦澱粉糊を用いて接着した。

④ 収蔵・展示環境整備

IPM（総合有害生物管理）や空気環境の監視を継続した。また、設備・機器の更新やメンテナンスを計画的に進め、より良い博物館展示・保存環境の維持・保全に努めた。

項目	実施時期等
定期的な空気環境簡易調査（収蔵庫・展示室）粘着トラップの設置	4、6、8、10、12、翌2月
専門業者による空気環境調査（浮遊菌）	1回（10月19日）
資料の燻蒸	9月17日～19日
一般、特別収蔵庫・一時保管庫・写真室のクリーニング	月2回
エリア区分による段階的管理、防塵・防虫粘着マット設置（増設）、収蔵資料のコンディションチェック	常時
作品のクリーニング、展示ケース内アートソープ入替え	随時

- ・収蔵資料のコンディションチェック
- ・資料の燻蒸
- ・エリア区分による段階的管理
- ・専門業者による空気環境調査
- ・粘着トラップの設置、害虫の防除
- ・展示ケース内アートソープ入替え
- ・作品のクリーニング
- ・一般、特別収蔵庫のクリーニング

2 豊かな感性を育み郷土を愛する人材の育成

(事業の方針)

- ・学校の学習活動の支援し、学社連携を推進する
- ・生涯学習施設であり地域の交流拠点として、上杉氏をはじめとする地域の歴史や文化芸術への理解を深めるとともに、日常的な地域学習の場となる多様なプログラムを用意し、地域の人々に学習と活動の機会を提供する

2-1 地域の生涯学習及び学校教育における学習活動の支援

(1) 教育事業

地域の歴史・文化や民俗・風習、美術・工芸、伝統的な手わざの理解と継承・普及のための体験プログラムを提供した。歴史や美術の体験学習を通して子どもの個性や地域の文化を尊重し合う意識を育て、「生きる力」や「想像力」を育む事業を展開した。

① 常設プレイショップの展開

季節企画では季節の風物を置賜の民俗風習と絡めながら紹介した。造形体験では、さまざまな素材や技法に触れることのできる幅広いプログラムを提供した。

季節企画	造形体験プログラム	期 間	参加人数
日本の伝統色①	いろんなかみでこいのぼり	～4月22日(火)	432人
端午の節句	切り絵のステンドグラス	4月25日(金)～5月21日(火)	610人
日本の伝統色②	スパッタリング	5月23日(金)～6月24日(火)	308人
七夕	モールで作ろう	6月27日(金)～7月22日(火)	345人
盂蘭盆会	折ってぼたぼた紙のおりぞめ	7月25日(金)～8月20日(水)	727人
重陽の節句	簡単版画をつくろう	8月22日(金)～9月23日(火)	390人
お月見	ハニカムシートでつくろう	9月26日(金)～10月21日(火)	446人
七五三	紙でつくるいろいろものいれ	10月24日(金)～11月25日(火)	369人
冬至・お年とり	アートと遊ぼう「テクスチャー」	11月28日(金)～12月17日(水)	152人
お正月・小正月 干支の郷土玩具	波段ボールでつくろう	12月19日(金)～21(日) 1月2日(金)～21日(水)	263人
節分	紙で作るおひなさま	1月23日(金)～2月25日(水)	295人
桃の節句	紙粘土で春の和菓子	2月27日(金)～3月25日(水)	536人
その他体験学習室の利用			1,251人
合 計			6,124人

② ワークショップの開催

五感や身体感覚を使ったプログラムや館の特徴を活かしたプログラムの開発と展開を行った。

ア 募集制プログラム

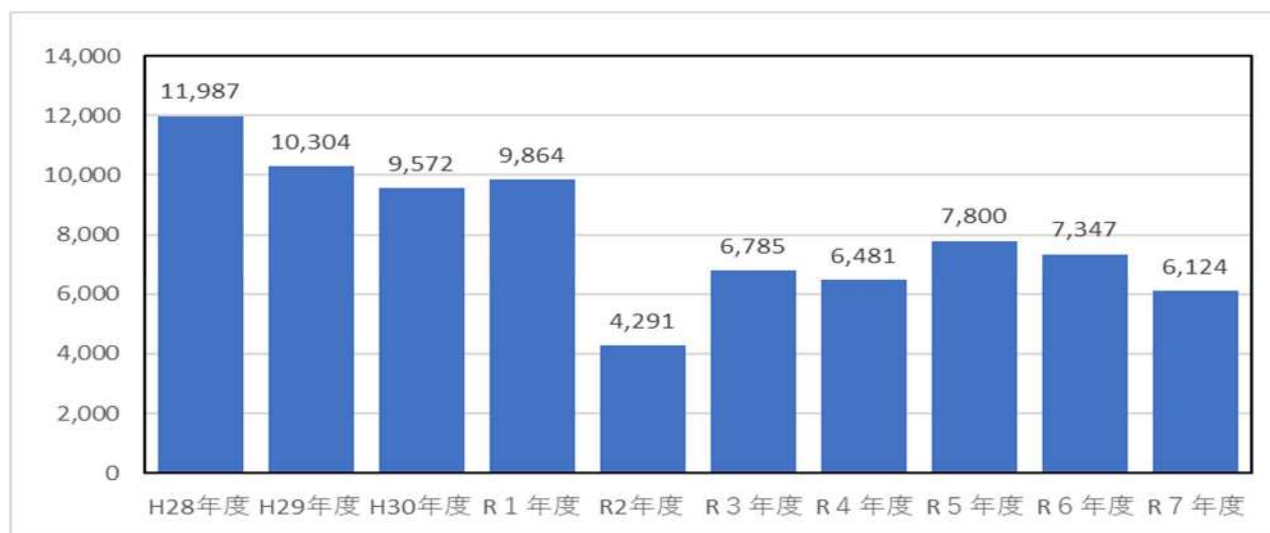
区分	企画	期日	対象	参加人数
つくろう！みつけよう！ “つくる”ことをテーマに参加者の発想をかたちにするワークショップ	日本画をたのしもう 岩絵具のふしぎ	5月10日(日)	小学生以上	21人
	大人ハニカムペーパークラフト	6月8日(土)	高校生以上	3人
	夏のカラーハンティング	7月20日(日)	小学生以上	6人
	紅花のふしぎ～ハンカチを染めよう～	8月2日(土)		15人
	藍の生葉でストールを染めよう	8月23日(土)		14人
	パルプ紙すきをたのしもう	9月6日(土)		3人
	レジンでつくる地球ペンダント	10月11日(土)		15人
	サラダ菜のバラでエコバック	12月13日(土)	未就学児・小学生以上	6人
	たためる彫刻をつくろう	1月10日(土)	小学生以上	10人
	紋切りでつくるひなかざり	2月11日(水祝)	高校生以上	3人
鑑賞の時間(とき)ナイトツアーようこそ夜の博物館へ	洛中洛外図をたのしむ	5月16日(金)	どなたでも	22人
	藍と紅花の秘密	7月11日(金)		21人
	ムナーリとあそぼう	12月19日(金)		12人
体感ミュージアム～博物館のすべて～	きみもチルドレンキュレーターズ～学芸員になろう21～	年間12回	小学4年生～高校生	9人
	だれもしらない博物館～博物館バックヤードツアー～	11月3日(月祝)	どなたでも	6人
合 計				166人

アウトリーチ(学校、幼稚園・保育園・学童保育・コミセンやPTA親子事業等への出前ワークショップ)

イ 自由参加制プログラム

企画	期日	参加人数
むかしむかしを聞こう 語り：米沢とんとむかしの会(伝国の杜事業協力者)	5月24日(土)	86人
	10月4日(土)	

体験学習室(プレイショップ)利用者数の推移



(2) 博物館活動の広報PRの推進

① 図録等の出版

令和6年度 博物館年報	Vol. 37 (10月)
伝国の杜だより	Vol. 47 (4月) Vol. 48 (9月)
展覧会図録	特別展「上杉家の御殿」 特別展「上杉謙信の祈りと信仰」
教育普及事業ミュージエデュウだより	年間スケジュール号(4月) 秋冬号(9月)

② 情報ライブラリーの更新

常設展、企画展を補完する米沢の歴史・民俗・文化等の映像ソフトを制作し、情報ライブラリー「おきたまたまてばこ」での提供を行った。
(新規映像の制作) 「上杉謙信の祭祀と米沢」

(3) 展示会内容への理解を深め魅力を伝える活動、展示会の充実

① 講演会・トークイベント(ギャラリートーク・コレクショントーク)

企画展・特別展に併せて講演会やシンポジウムのほか、展示内容等の解説を開催した。(別掲)

(4) 地域・学校との連携の推進

① 学校の利用促進

ミュージアムスクールや出前授業等により、博物館を活用した学習機会の提供と支援を行った。

学校の施設見学・展示 見学利用	・減免を伴う置賜地域の学校利用 12件 人数450人 ・学芸員が説明・解説等を行った学校利用 施設見学 小学校2校 展示見学 小学校3校 中学校2校(3件) 高校 1校 大学 2校(3件)
出前授業	小学校8校 中学校0校 高校0校 合計232人
その他の連携・支援事業	・山形県高等学校教区研究会芸術部会書道専門部研究大会 11人 ・山形県立米沢興譲館高校の教員・生徒との共同資料調査 計7回延べ40人

② 博物館実習、職業体験の受け入れ

博物館実習やインターンシップなどの職業体験で生徒、学生の受け入れを行い、博物館の仕事や役割を体感してもらうことで、博物館の社会的役割の理解者を増やし、未来の来館者へとつなげた。

博物館実習	6人(米短、大東文化大、その他)
YCW	12人(一中、二中、四中、七中)
インターンシップ	2人(山形大学)

③ 児童・生徒の利用促進

・小中学生の入館料が無料の展示の開催 「ブルーノ・ムナーリ展」 入館者数175人

④ その他

・鷹山大学「なせば成るクラス」講師(社会教育文化課主催) 参加者 約70人
・山形県統計調査員協議会連合会研修会 講演「上杉鷹山の改革 ～人と数字の積み重ね～」
参加者 242人

2-2 資源の活用と連携

(1) 美術作品等の鑑賞機会の拡大

年に数回収蔵の美術作品を市内の学校や公共施設に貸し出し、博物館以外で市民が実物資料に触れる心豊かな文化体験の機会をつくった。

4箇所（市役所、市内学校（上郷小、松川小、興譲小）） 14点

(2) 資料の公益利用の推進

特別利用・掲載利用・資料貸与 条例等の基準に照らし、適正に許諾・貸出を行った。

特別利用	掲載利用	資料貸与	合計
11件	228件	10件	249件

置賜文化ホール

1 文化芸術活動の活性化と伝統芸能の継承

（事業の方針）

- ・様々な舞台芸術に親しむ機会が増え、地域の人々が潤いとゆとりを感じて心豊かに暮らせるよう、ホールの特性を活かした公演等を実施する
- ・多様な活動主体による芸術活動が盛んになり、地域の文化・芸術活動の活性化が図られるよう、施設の利用促進を図る
- ・地域の伝統芸能への理解を深め、伝統文化を継承する

1-1 優れた作品や舞台芸術に親しむ機会の提供

(1) 舞台芸術の鑑賞機会の創出

良質で低廉な有料公演を開催するとともに、市民の文化活動を支援し、米沢市を中心とする地域住民の文化的水準の向上に資する事業を実施した。（米沢市共催事業）

公演	期日	入場者数
ヒネモス ファミリーコンサート	7月13日（日）	257人
山形交響楽団ユアタウンコンサート2025米沢公演	8月23日（土）	494人
第20回吹奏楽の日コンサート2025	10月5日（日）	1,476人
メガトーン・アンサンブル コンサート	11月15日（土）	109人
KENSYO de JAZZ 2管'S Dream	12月13日（土）	120人
KENSYO de JAZZ GOLD FINGER FIVE	3月7日（土）	125人

(2) 地域の芸術活動家の育成

アマチュア活動団体等への活躍・研鑽の場の提供について、団体等のヒアリングを行い、手法を検討したが、日程等の調整が難しく実施できなかった。（山形県補助事業）

(3) 小中学生の舞台芸術鑑賞機会の促進事業

寄附金を活用して自主事業に招待した。

- ・メガトーン・アンサンブル コンサート 親子4組8人

1-2 能舞台を活用した伝統芸能の継承・普及

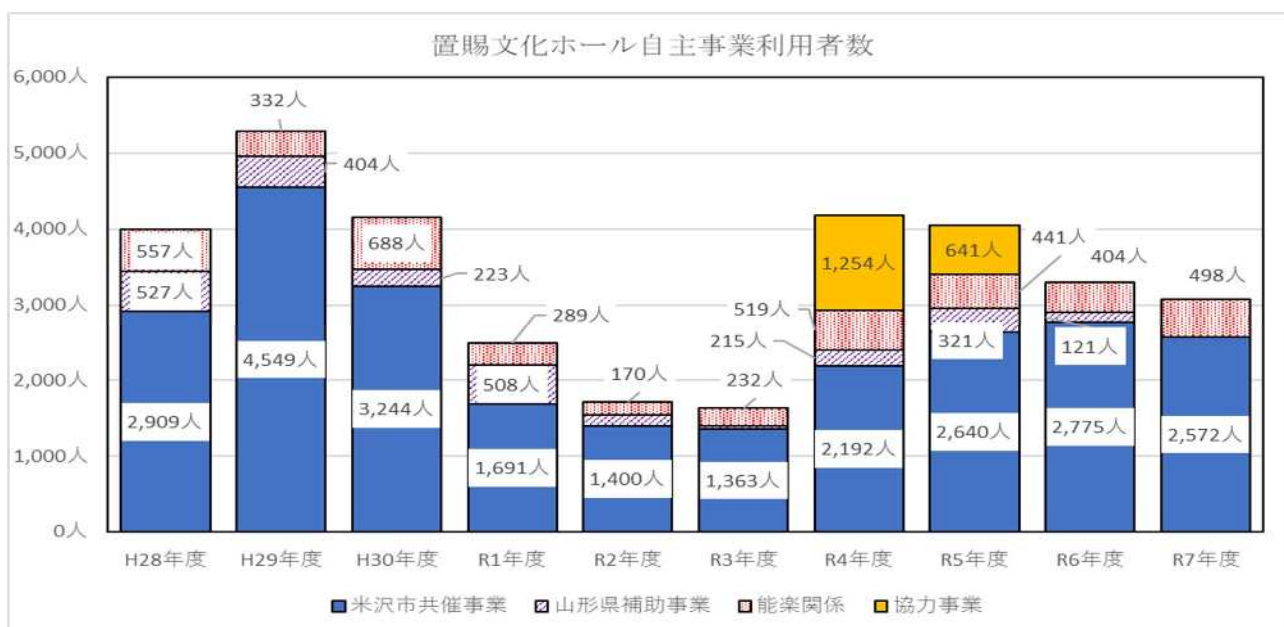
移動式能舞台を活かして利用者が能楽に触れる機会を提供し、伝統芸能の普及に努めた。

(1) 伝統文化に親しむ機会の創出（山形県補助事業）

公演・事業	期日	入場者数
令和七年度能楽の祭典	9月14日（日）	165人
ふらっと狂言会 in 米沢	9月15日（月祝）	253人

(2) 次世代への伝統文化の継承

項目	期日	入場者数
こども狂言クラブ運営事業 ・稽古12回（狂言師の派遣指導） ・発表5回（さくらに舞う会、国際キャンプ in 米沢、能楽の祭典、置賜こども芸術祭、雪に舞う会）	通年開催	受講者10人
・こども狂言クラブ発表会	3月20日（金祝）	70人



米沢市座の文化伝承館

1 伝統文化活動の支援

（事業の方針）

- ・地域の人々等が伝統文化を気軽に体験できる機会を提供し、次世代への継承と普及を図る

1-1 伝統文化の普及促進

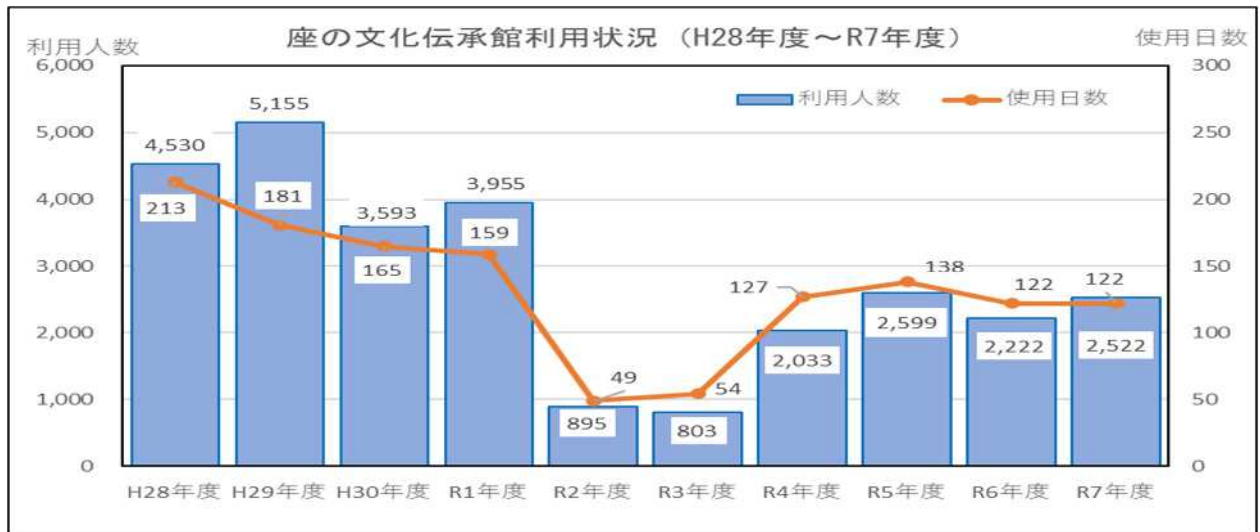
(1) 自主事業

本格的な数寄屋づくりの茶室を活かし、米沢茶道連合会と連携して日本文化のひとつである茶道に気軽に親しむことのできる機会を提供することで茶道の普及を図った。

企画	期日	入場者数
第33回市民茶会	6月7日（土）	180人

(2) 貸館事業

市民が自主的に伝統的な文化活動を推進しその伝承を図ることを目的に、和室の機能を活かした「座って行う日本文化」の一つの活動拠点として施設を貸与し、地域の芸術文化の振興に寄与した。



1-2 歴史・芸術・文化の情報発信

(1) 自主事業 (展示)

地域の歴史・文化を紹介する展示を実施した。

展覧会	期 間	入場者数
「河童洞コレクションの世界 縁起物の張り子たち」	9月17日(水)～9月29日(月) [開催日数: 12日]	328人

市立米沢図書館

1 地域の情報拠点となる図書館づくり

(事業の方針)

- ・地域の情報拠点としての機能の充実を図り、市民等の多様なニーズに対応する資料及び情報の収集・整理・保存・提供を通して課題解決を支援する

1-1 資料や情報の収集・整理・保存

(1) 資料や情報の収集の推進

市立米沢図書館資料収集方針や選定基準、受入基準等に基づき、図書館資料の充実を図る。購入、寄贈及び寄託については、基準に則って良質な図書館資料の選書・選定に努めた。

- ・新規受入資料 10,386点 (新規購入9,786点 寄贈受入資料600点)
- ・選書会議を月1回休館日に開催

(2) 所蔵資料の適正な管理の推進

① 排架と整理

1点ごとの資料データを集積し適正な排架に努め、資料が適切な状態で貸出を行えるよう、点検・修理等と随時整理を行った。

② 蔵書点検

誤排架を正し、不明資料の所在や現況を調査し、適切な資料管理を行う。

区分	期間	実施結果
本館	1月30日(金)～2月5日(木)	不明本13冊
BM	10月6日(月)～10月7日(火)	不明本0冊

③ 除籍

利用価値の喪失や亡失、汚破損、重複等で不用となった資料の除籍と廃棄を実施し、常に新鮮かつ適正な蔵書の構成を維持した。

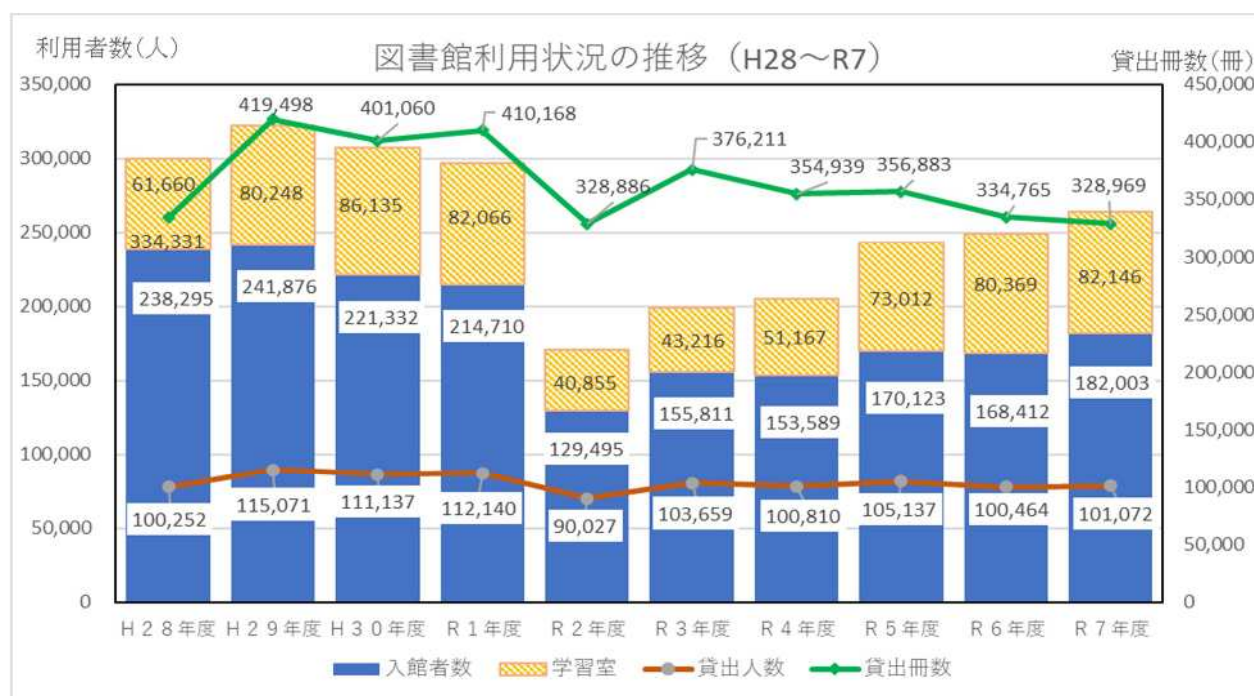
区分		点数・対象期間
図書、雑誌、AV資料		9,146点
新聞	河北新報	令和4年4月1日～令和5年3月31日分
	毎日新聞、読売新聞、産経新聞、日経新聞、毎日小学生新聞	令和5年4月1日～令和6年3月31日分
	スポーツ報知、日刊スポーツ	令和6年4月1日～令和7年3月31日分

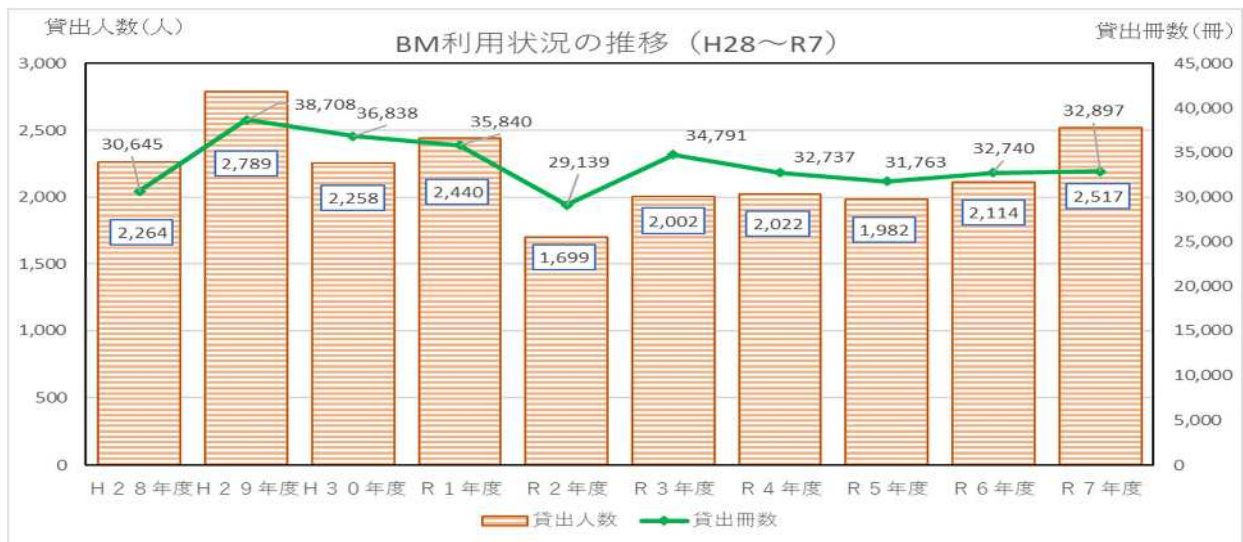
(3) 利用者のニーズに対応したサービスの実施

① 貸出・閲覧

本館での貸出や閲覧の他、自動車文庫車「アタゴオル」で月に70箇所程市内の公共施設、教育施設、福祉施設等を巡回して貸出を行い、広く市民へ図書館サービスを提供した。

区分	冊数
図書貸出	328,969冊
アタゴオル貸出(配本所数73箇所)	32,897冊
合計	361,866冊
相互貸借利用件数	貸出 509冊 借受 403冊





② 予約・リクエストへの対応

所蔵資料の予約サービスによる貸出のほか、未所蔵の資料へのリクエストには、購入するほか相互貸借制度を活用して他館から借用するなど、利用者の要望に応じて資料を提供した。

・件数 20,558件 (予約件数19,865件 リクエスト件数693件)

③ 複写サービスの提供

著作権法の範囲内での資料の複写サービスを行った。

・複写件数8,446件 (うち郷土資料 郵送複写 152件、マイクロ複写 223件)

④ 特別利用・掲載許可・撮影

条例等の基準に照らし、適正に許諾・貸出を行った。

区分	件数・点数	
古文書・古典籍の閲覧	36件	505点
古文書・古典籍の撮影	29件	456点
古文書・古典籍の貸出	0件	0点
その他の特別利用 (禁帯本等)	4件	6点
資料の掲載及び写真貸与	32件	68点

(4) 情報サービスの提供

① レファレンスへの対応

利用者の調査相談に、収蔵資料、インターネット情報等を用いて対応し、必要情報や資料の検索、提供を行った。また、収蔵資料や展示資料等についての質問にも答え、特に郷土米沢に関する質問については特設のレファレンスカウンター (郷土資料調査相談) にて対応した。

区分	件数
一般 (カウンター対応)	108件
郷土資料 (調査を要する依頼)	91件

② データベース機能の活用

新聞記事・経済情報・法律情報等に関する有料データベースのほか、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」機能を提供し、利用者の調査研究や課題解決をサポートした。

③ 暮らしに役立つ情報コーナーの設置

利用者の生活に資する情報が掲載された資料を取り上げ紹介した。

- ・暮らしに役立つ情報コーナー（他機関と連携し1階で展示）

内 容	期 間
米沢市健康課 食育に関する展示	5月30日(金)～7月1日(火)
米沢市企画調整部地域振興課 「米沢刺子の会」製作の刺子展示	7月18日(金)～7月23日(水)
米沢市企画調整部地域振興課 紅花の展示	7月25日(金)～7月30日(水)
米沢市総務課 終戦80年事業に関する展示	8月1日(金)～9月30日(火)
米沢市高齢福祉課 アルコール関連問題啓発週間に関する展示	10月10日(金)～10月23日(木)
山形地方法務局米沢支局 相続登記申請義務化・自筆証書遺言書保管制度に関する展示	10月24日(金)～11月21日(金)
米沢市健康課 自殺予防週間に関する展示	3月2日(月)～3月31日(火)

(3) ユニバーサルサービスの向上

① 自動車文庫による図書資料の貸出（再掲）

73カ所の公共施設、教育施設、福祉施設等を自動車文庫車「アタゴオル」で巡回し、来館が困難な方を含め広く市民へ図書館サービスを提供した。

配本箇所	73箇所（新規4箇所、廃止1箇所）
貸出冊数	32,897冊
利用者数	2,517人

② ハンディキャップサービス

高齢者や障がい者を主な利用対象とした大活字本やLLブック等の資料の収集と紹介を行った。

- ・大活字本の新規排架 68冊
- ・「りんごの棚」（バリアフリーに配慮した図書）の新規排架 13冊
- ・リーディングトラッカー（読書補助具）の製作と配布
- ・令和7年度多様な子どもの読書活動についての理解促進イベント（第4回）
「新しい「読書」のカタチ♪2025 in 置賜」

期日：11月13日(木)

主催：山形県教育委員会

共催：山形県視覚障がい者情報センター、市立米沢図書館

内容：読書補助機器やエプロンシアター等の展示と紹介

(4) 情報の発信

① 出版

図書館だより（年間4回）	4月、7月、10月、1月
市立米沢図書館概要	7月発行

2 読書活動・生涯学習を支える図書館づくり

（事業の方針）

- ・読書の楽しみを広げる活動を推進するとともに、社会教育施設として市民の生涯学習を支援し、交流活動の機会を提供する

2-1 生涯学習の支援及び交流活動の提供

(1) 郷土資料や歴史に関する学びの機会の提供

【第40回 ふるさと歴史講座】

演題	講師	期日	受講人数
藩校・興譲館の変遷	青木昭博（郷土資料専門員）	9月28日（日）	20人
興譲館にまつわる諸相	宮澤崇士 （郷土資料担当学芸員）	10月4日（土）	23人
学校の歴史を調べる	佐藤正三郎 （米沢市上杉博物館学芸員）	10月12日（日）	26人

【第36回 文学講座】

演題	講師	期日	受講人数
在原業平の実像と虚像『伊勢物語』をめぐって～前田慶次は何に憧れたのか～	原田章子氏 （東北文教大学特任講師）	11月23日（日）	25人
		11月30日（日）	22人
		12月7日（日）	23人

【第69回 古文書解説講座】

演題	講師	期日	受講人数
古文書読解入門編 ～読解初心者の方へ～	宮澤崇士 （郷土資料担当学芸員）	2月8日（日）	22人
米沢藩侍組・大石家文書を読む ～改革を補佐した大石綱豊～	青木昭博 （郷土資料専門員）	2月15日（日）	18人
上杉氏からの手紙 ～謙信・景勝・家臣たち～	阿部哲人 （米沢市上杉博物館学芸員）	2月22日（日）	21人

(2) 交流活動の機会の提供

英語に親しみ、英語多読の手法を身に着ける「英語多読講座」や、参加者同士が互いに本について語り合い交流する「読書会」など、利用者が一層本に親しみ、本を介して交流することができる場を提供した。

【ナセBA英語多読】

区分		期日・講師	参加者数
英語多読サロン		4月、6月、8月、12月、2月 （隔月第4土曜日） 5回	延べ53人
英語多読講座	英語多読ワークショップ ～英語でおしゃべり会～	期日：10月26日（日） 講師：酒井邦秀氏（NPO 多言語多読理事）	7人
	英語で遊ぼう！～おうち えいごのススメ～	期日：8月9日（土） 講師：吉澤恭子氏	延べ親子 13組

【読書会（読み聞かせ講座・絵本講座）】

講師：舟山康子（図書担当職員・絵本専門士）

内容	期日	参加者数
第17回 絵本専門士による読み聞かせスキルアップ講座	6月22日（日）	34人
第18回 絵本専門士による大人のための絵本講座～家庭での読み聞かせ編～	11月24日（月祝）	13人
第19回 絵本専門士による大人のためのおはなしかい&読書会	3月29日（日）	おはなしかい26人 読書会15人

2-2 読書の楽しみを広げる活動の推進

(1) 図書館への来館機会の創出

2025 読書週間図書館フェア 開催期間：10月24日（金）～11月9日（日）

企画	期日・期間	参加者数等
英語多読ワークショップ～英語でおしゃべり会～	10月26日（日）	7人
ナイトバックヤードツアー	10月31日（金）	11人
本のフィルムコート体験	11月3日（月祝）	7人
早めの準備で安心を！相続登記と遺言講座	11月8日（土）	15人
本と雑誌のリサイクル市	10月24日（金） ～11月9日（日）	利用者558人
本と雑誌の付録抽選会		応募者290人
特集コーナー「一文字BOOKS」	10月24日（金） ～11月26日（水）	貸出数130冊
図書館×謎解きラリー	10月24日（金） ～11月26日（水）	参加者184人

(2) 特集コーナー（一般資料・児童資料）の設置

季節行事や社会情勢に関するテーマの資料を取り上げ紹介することで、図書館利用者へ新たな気づきを促し、資料の貸出増加へ繋げた。また、先人顕彰コーナーの展示や米沢市上杉博物館、置賜文化ホールの事業等の関連資料を積極的に紹介した。

- ・一般書コーナー 53回
- ・児童書コーナー 25回

3 こどもの未来を育む図書館づくり

（事業の方針）

- ・米沢市子ども読書活動推進計画（第2期）に基づき、社会の未来を担う子どもたちの読書活動を関係機関と連携して積極的に推進する

3-1 子どもの読書活動の推進

「ブックスタート」や「おはなしかい」を通して乳幼児期から本に親しむ機会を提供したほか、市内小学校図書館部会や市内各種団体等と連携して子どもの読書活動の推進及び図書館の利用促進を図った。

(1) 読書活動の推進

区分	主な対象	実施者	会場	回数	参加者数
ブックスタート	7か月児と保護者	職員、サポーター	7か月児健康教室	17回	親子303組
おはなしかい	乳幼児～小学生と保護者等	職員、サポーター、サークル夢空間	おはなしのへや、EVホール等	36回	446人
出張おはなしかい		職員	もくいくひろば、くても（各1回）	24回	243人

・小学校巡回文庫

(配本)	(回収)	配本箇所	配本冊数
4月16日(水) 9月11日(木) 11月28日(金)	7月9日(水) 11月10日(月) 3月5日(木)	市内小学校 14校	延べ6, 200冊

・2025夏休みこども図書館フェア

期間：7月25日(金)～8月11日(月・祝)

企画	期日・期間	参加者数等
読み聞かせボランティア団体「サークル夢空間」のおはなしかい	7月26日(土)	おはなしかい43人
ぬいぐるみのおとまりかい *サポーター協働	7月27日(日)	おはなしかい36人
図書館貸し切り！バックヤードツアー&ゆったり読書	7月29日(火)	17人
英語で遊ぼう！～おうちえいごのススメ～	8月9日(土)	24人
図書館のおしごとを体験してみよう！ 司書体験・おはなしかい編	8月10日(日)	5人
本のお楽しみ袋～どんな本が入っているのかな？～	フェア期間	本館396冊 BM145冊
なにを読もうかな？図書館オリジナルガチャガチャ	フェア期間	景品806個

・令和7年度 米沢市小中学生読書感想画展

作品受付：10月31日(金)～14日(金)

出品数：327点

展示期間：12月10日(水)～14日(日)

観覧入場者数：1,614人

・本のきろく通帳の発行 新規発行数474冊(再発行を除く。)

(2) 地域・学校との連携の推進

① 職業体験・図書館見学の受け入れ

職業体験やインターンシップ等で児童・生徒や学生を受け入れ、図書館の仕事や役割を体感してもらうことで、図書館の社会的役割の理解者を増やし、未来の来館者へとつなげた。

区分	人数等
YCW	4人(米沢三中・四中・七中)
小学校見学	14校
職場体験(米沢養護学校高等部生徒「デュアル実習」)	7人
中堅教諭等資質向上研修	1人(長井工高)

② 学校及び子育て支援施設等への支援

学校や子育て支援施設等の依頼に応じて、テーマに添った読み聞かせやブックトークを行うとともに、教員や学校司書、子育て支援等の関係者に対しての研修支援や協力を行った。

・ブックトーク1件(六郷小学校)

区分	期日
米沢市小学校図書館研究部会 研修会	4月16日(水)
高島町立図書館・読み聞かせ講座	5月11日(日)
高島高等学校・「音楽」読み聞かせ指導	5月16日(金)
子育て支援センターぴっころ・絵本講座	5月30日(金)

窪田小学校・読み聞かせ講座（保護者向け）	7月18日（金）
置賜管内高等学校 学校司書研修会・絵本専門士による絵本読み聞かせ指導講座	8月6日（水）
九里学園高等学校・読み聞かせ指導	9月5日（金）
米沢中央幼稚園・「幼児共育ふれあい広場」講話	1月30日（金）
学校司書研修会	8月28日（木）、9月2日（火）、12月25日（木）、2月12日（木）

4 郷土資料を適切に保管し、次世代に伝える図書館づくり

（事業の方針）

- ・先人が残してきた貴重な郷土資料を適切に保存・管理し、デジタル情報への変換も推進しながら、地域の歴史や文化を次世代に伝える

4-1 置賜地域や上杉家に関する郷土資料の収集と保存

(1) 郷土資料の収集、調査研究の実施

市立米沢図書館資料収集方針に基づき、出身作家や上杉家の歴史も含めた置賜地方の郷土ゆかりの資料（図書、雑誌、古典籍、古文書等）を調査・収集し、郷土の歴史の編纂等を行った。

(2) 貴重資料（古典籍・古文書）の適切な保存・管理の推進

資料や設備・機器の更新やメンテナンスを計画的に進めるとともに、朝夕の温湿度管理や清掃を行い貴重書庫の環境保全に努める。また、IPM（総合有害生物管理）活動を定着させ、館全体として収蔵・展示環境の向上を継続的に行った。

- ・毎月の定期清掃 ・定期的な温湿度、照度測定 ・粘着トラップの設置・空気環境調査

(3) 貴重資料の整理及びデジタル化の推進

① 貴重資料の整理・リスト化

受入資料の解読、調査、ラベリングを進めるほか、特に郷土資料中の古典籍・古文書類の未整理資料及び昨年度受入資料を積極的に整理した。

また、未受入資料については、受入有無確認、クリーニング、整理、登録、ラベリング収納、写真撮影等の作業を進め、管理体制を整えた。

- ・未整理地域資料900点を整理

② 収蔵文化財総合データベースの充実

収蔵文化財総合データベースに搭載する資料のデータ整備を行った。

③ 劣化資料等のデジタル情報への変換

マイクロフィルム資料や地図資料等の劣化が進む資料のデジタル化を行い、長期の資料の保存管理に資するとともに、利用者が利用しやすい環境を整備した。

対象	期間等
毎日新聞地方版	昭和27年1月～昭和27年12月
上杉文書（戊辰文書、勤書）	リールNo.198～209

4-2 郷土資料の活用の促進及び魅力の発信

(1) 図書館資料の活用（先人顕彰コーナー）

展 覧 会	会 期
「吾妻山 ～その自然と信仰～」	3月28日（金）～5月21日（水） [開催日数54日間]
「黒井半四郎と黒井堰」	5月23日（金）～7月23日（水） [開催日数60日間]
「終戦80年 平和への願い ～戦時中の写真・手紙から考える～」	7月25日（金）～9月24日（水） [開催日数60日間]
「知られざる？上杉主水家」	9月26日（金）～10月22日（水） [開催日数27日間]
「戊辰戦争と米沢」	11月28日（金）～1月21日（水） [開催日数47日間]
「野球と米沢～皆川睦雄を中心に～」	1月23日（金）～3月25日（水） [開催日数54日間]

(2) 郷土資料に関する情報の発信

収集した郷土資料や古典籍・古文書に関する内容や魅力を、ホームページやSNSを通して積極的に発信した。また、頻度の高いレファレンスについてのパスファインダー（調べ方案内）を作成し、利用者が自分で資料にたどりつけるようなツールの整備を行った。

- ・レファレンス回答91件、郵送複写26件、パスファインダー整備数1件

よねざわ市民ギャラリー

1 芸術・文化活動の活性化

（事業の方針）

- ・様々な芸術作品等に親しむ機会が増え、市民等が潤いとゆとりを感じて心豊かに暮らせる
- ・若手芸術家をはじめとする個人や多様な活動主体による芸術文化の創作活動が、地域内で盛んになる

1-1 多様な文化・芸術活動の促進支援

(1) 気軽に芸術作品に触れられる機会の創出（自主事業）

市内の芸術文化団体等と連携しながら展示を行い、市民の芸術鑑賞の機会を広げた。

① 展示事業

「山形県ゆかりの院展作家たち ～日本美術院再興110回院展記念展によせて～」

会期：4月26日（土）～5月11日（日） [開催日数16日間] 入場者数：1,278人

【関連事業】

区 分	期日等	参加人数
ギャラリートーク	講師：福王寺一彦氏 期日：4月26日（土）	30人
	講師：池田良平氏（天童市美術館館長） 期日：5月10日（土）	33人

国展100回記念事業 「作家の新たな出会い」

会期：8月2日（土）～8月24日（日）〔開催日数23日間〕 入賞者数：2,153人

【関連事業】

区 分	期日等	参加人数
ギャラリートーク	内容：8人の出品作家によるリレートーク 期日：8月2日（土）	70人
ワークショップ	「部屋に飾ろうアクリル画」 講師：国画会山形支部 期日：8月9日（土）	16人
	「消しゴムハンコでオリジナル手ぬぐいをつくろう」 講師：国画会山形支部 期日：8月10日（日）	16人

「ARTS MEET OKITAMA2026 & AMO2025大賞展」

会期：3月11日（水）～3月21日（土）〔開催日数11日間〕 入場者数：1,828人

- ・出品者数97人
- ・AMO大賞の選考（エントリー数58点）
- ・若手アーティスト奨励賞の選考（エントリー数18点）
- ・AMO10周年記念賞の選考（6点）
- ・10回連続出品者の表彰（9人）
- ・AMO2025大賞 新野裕美展

【関連事業】

区 分	期日等	参加人数
ギャラリートーク	期日：令和8年3月14日（土） 講師：新野裕美（AMO2025大賞受賞者）	40人
造形体験ワークショップ	「カラフル色紙で絵をつくろう！」 期日：令和8年3月14日（土） 講師：新野裕美（AMO2025大賞受賞者）	4人
	「木の実でいきものをつくろう！」 期日：令和8年3月20日（金祝） 講師：新野裕美（AMO2025大賞受賞者）	7人
ワークショップ	「デジタルアートでオリジナルしおりを作ろう」 講師：左右田心（AMO2025若手アーティスト奨励賞受賞者） 期日：令和8年3月15日（日）	9人

オープンギャラリー展示

第1期「郷土ゆかりの作家たち（昭和編）」	4月25日（金）～7月28日（月）
第2期「米沢と国画会ゆかりの作家」	7月30日（水）～10月22日（水）
第3期「河童洞コレクション 郷土玩具の世界①」	10月24日（金）～1月21日（水）
第4期「河童洞コレクション 郷土玩具の世界②」	1月23日（金）～4月22日（水）

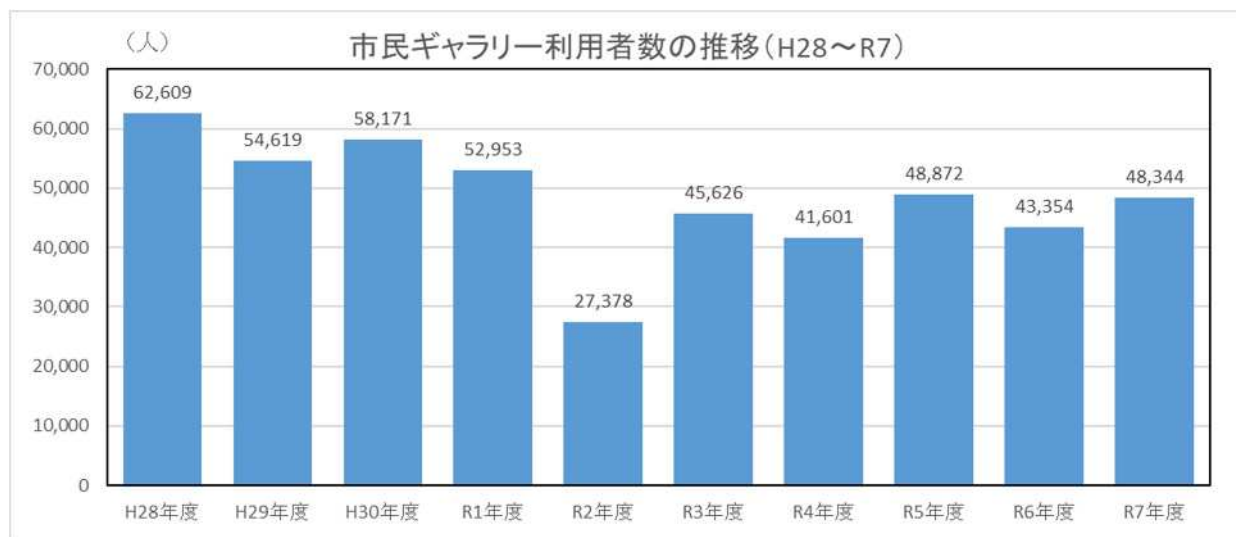
② ギャラリーコンサート

コンサートの実施日等の制約（図書館の休館日となる第4木曜日に限定）を無くし、展示室でのミニコンサートを開催した。

タイトル	出演	期 日	入場者数
吹奏楽とジブリの夜	米沢吹奏楽愛好会	8月31日	152人

(2) 市民等の主体的な芸術活動の促進（貸館事業）

様々な分野の作品に合わせた展示が可能である施設の機能を活かし、市民の多様な芸術文化活動の成果発表の場として、また、活気あふれる市民の芸術文化活動の拠点として施設を貸与し、地域の芸術文化の振興に寄与するよう、引き続き米沢市や関係団体と密に連携しながら適正かつ円滑な管理運営に努めた。



連携と協働による事業の推進と適正な組織運営

1 市民や地域の力を繋ぎ活かした事業の推進

(事業の方針)

- ・市の文化及び観光交流の拠点である上杉文化エリア（伝国の杜周辺区域）内の施設・団体やまちづくりネットワークなどと連携して各施設周辺の賑わいと活力の創出に寄与する
- ・市民等の知識や経験を活かして各施設のサービスを充実する
- ・事業や施設の運営に多くの人々が関わり、協力してもらう
- ・利用者の声を広く集める仕組みを整え、利用者の声を反映した運営を行う
- ・各施設の機能の向上と発揮に努めながら、施設相互が連携して新たな発想や手法による事業を実施する

1-1 サポーター運営事業

市民の活力を取り入れた活発な事業運営を目指し、一般市民がそれぞれの興味・関心・得意分野を活かして当財団事業に参加することができるようボランティア活動の場を提供した。

伝国の杜と図書館それぞれに「伝国の杜サポーター」と「市立米沢図書館サポーター」による活動のほか、サポーター通信の発行、研修や勉強会等を実施した。

(1) 伝国の杜サポーター運営事業

米沢市上杉博物館の洛中洛外図案内人等の資料解説や教育普及活動、図書整理、置賜文化ホールの諸事業における客席案内、広報物発送補助等を行った。

登録者数	38人（新規 6人、継続32人）
------	------------------

主な活動状況	インフォメーション	活動日数 38日	延べ参加人数 52人
	広報発送	〃 13日 (発送件数 8,086件)	〃 70人
	レセプション	〃 6日	〃 32人
	教育普及	〃 2日	〃 8人
	図書整理	〃 60日	〃 152人
	洛中洛外図案内	〃 77日 (案内人数 1,308人)	〃 104人
研修会	期日：11月5日(水) 内容：白鷹町あゆむ・白鷹町歴史民俗資料館 視察 参加者：10人		

(2) 市立米沢図書館サポーター運営事業

図書修理のほか、毎月のおはなしかいでの読み聞かせ、イベントの補助、郷土資料の整理（マイクロフィルムのデジタル化）などの活動を行った。また、夏休み期間に高校生の参加を募り、ティーンズサポーターとしてPOP作成や本の修理、読み聞かせなどの活動を行った。

登録者数	58人（一般24人、ティーンズ34人）		
主な活動状況	図書修理	活動日数 21日	延べ参加人数 35人
	おはなしかい・ブックスタート	〃 29日	〃 71人
	イベント	〃 1日	〃 2人
	デジタル化・解説	〃 154日	〃 248人
	ティーンズ	〃 4日	〃 63人

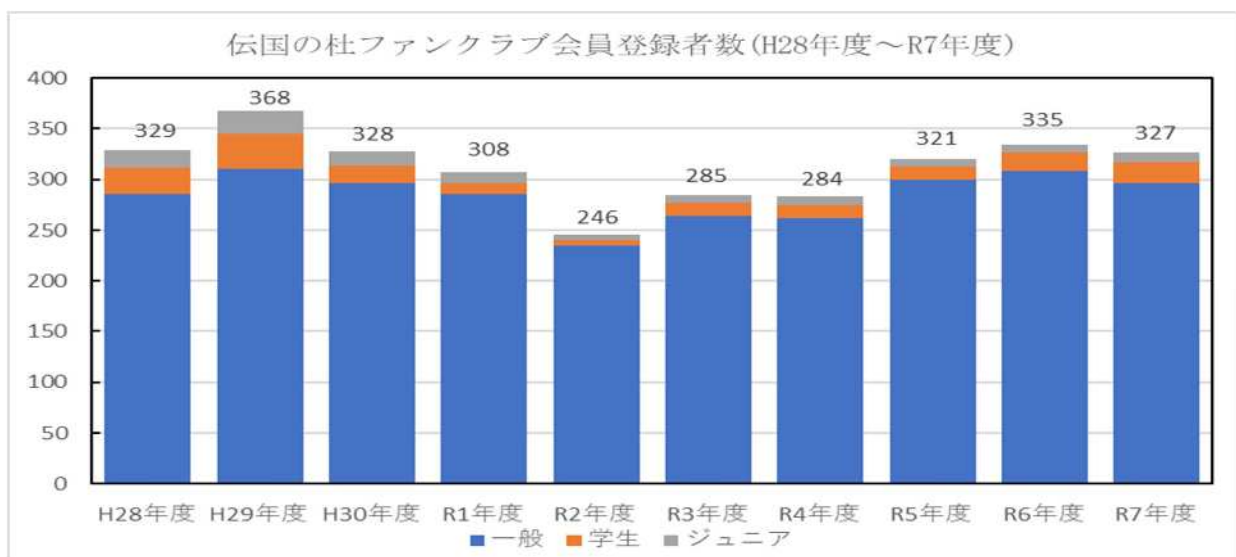
1-2 ファンクラブ運営事業（収益等事業3）

米沢市上杉博物館と置賜文化ホールの利用や財団事業への参加を通し、会員の興味・関心に応えるとともに、相互の親睦を図り、伝国の杜を支えるコアを育てた。

今年度も継続してPRと特典の充実の検討を行うなどにより、会員の定着を目指し、会員の募集を行った結果、327人（内訳：一般 297人 学生 20人 ジュニア 10人）の登録があった。

・ファンクラブ事業

事業	期日	参加者数
山響ユアタウンコンサートをもっと楽しむアフター交流会	8月23日(土)	10人
法音寺・御廟所特別拝観	11月1日(土)	27人



1-3 関係機関等との連携の推進

(1) 米沢市歴史文化拠点地区内の諸団体等との連携の推進

上杉文化エリア懇話会や上杉文化施設協議会のほか、米沢四季のまつり実行委員会等と連携し、本市が誇る歴史、文化、観光の交流拠点である伝国の杜周辺地区の魅力向上と集客促進を図った。

上杉文化エリア関係	定例会、周辺エリアの環境整備活動、上杉神社周辺マップのリニューアル
上杉文化施設協議会関係	米沢観るパス（利用期間4月～11月） 利用人数935人 まちナビカード（道の駅米沢に設置） 利用人数608人
米沢四季のまつり関係	上杉まつり、秋まつり、雪灯籠まつりの各実行委員会への参画、関連催事の実施(企画展示)、広告掲載

(2) 米沢市中心市街地活性化協議会等と連携したにぎわいづくりへの貢献

ナセBAの「こまや」を活用した地元コミセンや各種団体のにぎわい創出事業等へ協力した。

1-4 施設相互の連携

伝国の杜とナセBAそれぞれの施設の使命や役割を果たしながら、両施設を行き来できる事業を検討した。また、施設相互にポスター掲示や特集コーナーの設置を行うほか、各施設と関係機関との連携強化や情報交換を積極的に行い、十分な市民サービスを提供できるように努めた。

・連携事業

座の文化伝承館とナセBAの連携展示	座の文化伝承館自主事業「河童洞コレクション展」と市民ギャラリーのオープンギャラリーの展示の連携企画
博物館における図書館カード利用割引	0件

2 公益財団法人としての適正な組織運営と安全安心で開かれた施設利用

(事業の方針)

- ・公共施設であることを念頭に、経営基盤の安定と利用者及び収入の確保に努める
- ・内部評価や外部評価に取り組み、運営やサービスの改善に努める
- ・事業の目的と方法の明確化及び職員間の共通理解を図り、業務の無駄を無くす
- ・利用者と職員の安心・安全を第一に、施設設備の保守及び危機管理に取り組む
- ・新型コロナウイルス感染症の感染予防対策をはじめとする危機管理体制を維持し、利用者や職員が安心して利用や事業参加ができる環境をつくる

2-1 収入の確保

(1) ショップ運営事業（収益等事業1）

財団運営及び事業展開の安定化の財源を確保するほか、利用者サービスの充実のため、米沢市上杉博物館のミュージアムショップ及びネットショップにおいて、博物館で編集・発行する展覧会図録をはじめ自主製作商品や受託商品の物品販売を行った。

- ・新規図録の刊行（『上杉家の御殿』、『上杉謙信の祈りと信仰』）
- ・新規商品の発売（「アクリルキーホルダー」4種、「享和二年松崎城ちょう図」）

2-2 施設の安全の維持向上

(1) 施設の適正な維持管理の推進

指定管理を受けている施設について、管理者である米沢市との連絡を密にしながら施設や機器の修繕・更新等の計画を進めた。 ※軽微なものは省略

米沢市上杉博物館 置賜文化ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示室鉄砲体験装置改修 ・常設展示室内「上杉家文書の世界」展示装置更新 ・企画展示室用展示ケース照明換装 ・館内トイレウォシュレット修繕
米沢市座の文化伝承館	<ul style="list-style-type: none"> ・内庭樹木（ヒマラヤスギ、アカマツ）剪定作業 ・ウコギ生垣修繕
市立米沢図書館 よねざわ市民ギャラリー 米沢市まちなか駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・館内利用者用Wi-Fi設置業務 ・館内LED照明交換 ・折り畳みテーブル用戸車修理 ・自動車文庫パネル、エアコン修理 ・高所作業車修理

2-3 施設利用の促進

(1) 情報発信の強化

広報物や出版物の発行の他、インターネットや各種メディアを通じて情報発信等を行い、施設の利用を促進した。

- ・施設ホームページ（博物館、ホール、座の文化伝承館、図書館、ギャラリー）
- ・X（博物館、ホール、図書館、ギャラリー）
- ・Instagram（伝国の杜こども狂言クラブ（ホール）、図書館、ギャラリー）
- ・その他WEB掲載（伝国の杜ブログ、博物館note、ギャラリーFacebook、米沢市LINE）
- ・催事情報サイト（インターネットミュージアム、やまがたマナビィnet他）
- ・新聞、テレビ、ラジオCM等
- ・その他広告（やまがたコミュニティ新聞、るるぶ山形、歴史人、婦人画報、芸術新潮 他）

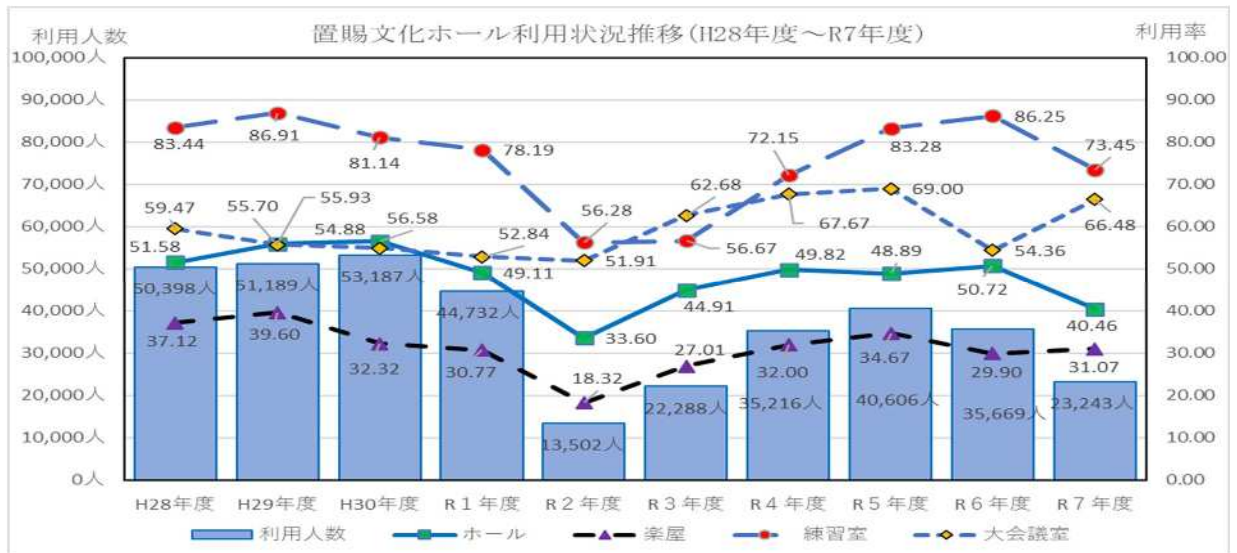
① 米沢市上杉博物館会議室（収益等事業2）



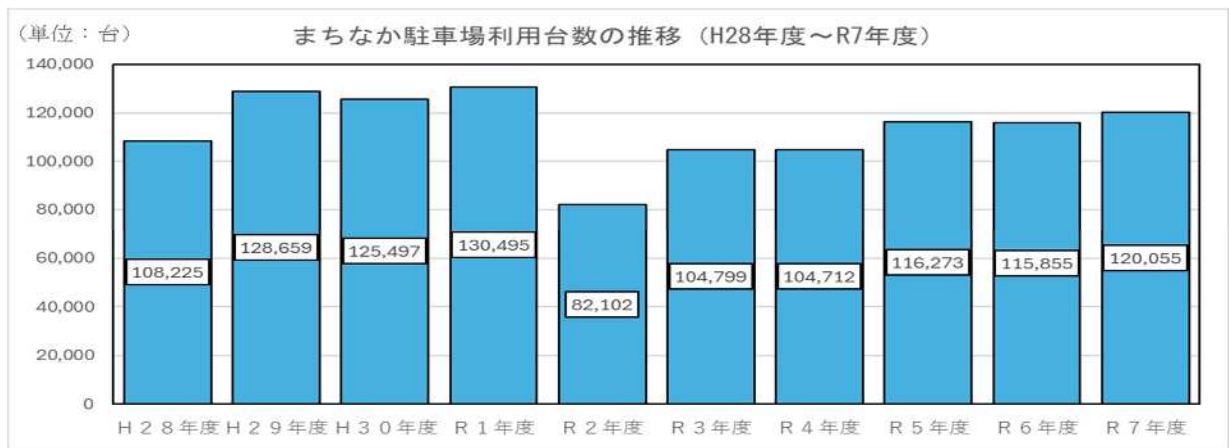
② 置賜文化ホール

設置者である山形県や指定管理者の米沢市と連携して利用促進に努めた。

前売券販売提携件数 4件 販売枚数 71枚（有料券のみ）



③ 米沢市まちなか駐車場



2-4 運営組織体制の維持・向上

(1) 法律等に基づいた適正な組織運営と情報公開による運営の透明化

① 役員会の開催

法に基づき理事会等を開催し、公益財団法人としての適正な運営に努めた。

区分	日時・場所・決議事項
通常理事会	日時・場所：令和7年5月27日(火)、伝国の杜 小会議室(2階) 報告事項：理事長及び常務理事の職務執行状況 決議事項：令和6年度事業報告及び附属明細書及び計算書類の承認 他2件
	日時・場所：令和8年3月26日(木)、伝国の杜 小会議室(2階) 報告事項：理事長及び常務理事の職務執行状況 決議事項：令和8年度事業計画の承認 他4件
臨時理事会	開催なし
定時評議員会	日時・場所：令和7年6月14日(土)、伝国の杜 大会議室(2階) 報告事項：令和6年度事業報告 他1件 決議事項：令和6年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認 他1件

- ② 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の一部改正への対応
 改正法に基づく会計処理への移行について情報収集に努めて移行準備を行ったほか、経営状況等の情報公開を適正に行うなどガバナンスの充実に努めた。

(2) 評価の実施

① 内部評価

年間の事業計画で掲げた目的や目標の達成状況について、K P I 指標を基に評価を行ったほか、博物館の企画展・特別展や置賜文化ホール等の事業について実施後に点検評価を行った。

② 外部評価

- ・博物館の展示及び置賜文化ホールの自主事業に対する来館者アンケートの実施
- ・伝国の杜運営協議会の開催（年2回）
- ・ナセBA運営協議会の開催（年2回）

(3) スタッフの育成

① 講習会・勉強会の開催、研修への派遣

新規採用者研修や職員の定期的な勉強会や研修会を実施するとともに、外部研修等へも積極的に派遣し、スタッフとしての知識の習得や技能の向上を図った。

(4) 全ての職員が働きやすい職場づくり

① 危機管理対策

- ・避難訓練の実施（年2回）

施設	実施日
伝国の杜	7月15日（火）、10月23日（木）
ナセBA	5月22日（木）、11月27日（木）
米沢市座の文化伝承館	8月21日（木）、11月13日（木）

- ・救命救急講習会等への派遣（9人）
- ・危機管理マニュアルの見直しと内部周知

② 職員の労働環境の整備

「働き方改革」の施行に合わせて整備した財団諸規程を遵守し、また社会情勢の変化やワーク・ライフ・バランスの視点を踏まえながら、職員の適正な労働環境を整えた。

- ・カスタマーハラスメント対策マニュアルの策定